



① 学校教育の充実

拡充	富山大学理学部・氷見市連携研究室等活用事業費	880万円			
		(前年度) 1,035万円			
担当課	教育総務課	電話番号 74-8211			
1. 本市の現状と課題					
<p>富山大学理学部と連携し「ひみラボ水族館」の運営を行うとともに、小中学校で「出前講座」・「野外調査」などを行い、氷見の豊かな生物多様性を啓発しています。里地里山の生物の研究を深めながら、氷見の豊かな生物多様性を海外および国内に広く発信していくことが、今後の課題です。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>大学研究施設として自然科学研究を推進するとともに、小中高校生の学習活動や里地・里山の生物研究の拠点として活用します。またイタセンパラを活用したアクアツーリズムを検討するとともに、引き続き淡水魚やヤギ・ブタなどの展示を行い、子どもと動物のふれあいを支援します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
ひみラボ水族館の来館者増(目標 年間7,000人)を目指します。					
(単位:万円)					
財源	使用料	10	経費内訳	委託料	479
	市の負担	870		光熱水費	219
				その他	182

継続	氷見の教育基本方針推進事業費	189万円			
		(前年度) 170万円			
担当課	学校教育課	電話番号 74-8213			
1. 本市の現状と課題					
<p>第2期「氷見市教育振興基本計画」では、氷見市を担う子どもたちの望ましい姿を「ふるさと氷見を愛し次代を担う人づくり」とし、その具現化のため、各学校での特徴を生かしたさまざまな活動を展開します。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>地域の産業や伝統を学ぶ体験学習(稲積梅、みりん干し、ハトムギ、女良ワカメ、三尾のそうけ、藤箕など)や小学4年生(10歳)が図書館の利用を体験することで公共ルールやマナーを学ぶ2分の1成人式、中学校区において小中学校が連携したあいさつ運動や清掃活動などを実施します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
各学校において、「夢や希望に向かって自分らしく成長する郷土愛あふれる児童生徒の育成」を目指します。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	189	経費内訳	委託料	170
					印刷製本費

① 学校教育の充実

拡充	特別支援スタディ・メイト派遣事業費	1,530万円
		(前年度) 1,226万円
担当課	学校教育課	電話番号 74-8213
1. 本市の現状と課題		
特別な教育的支援が必要な児童生徒は増えており、学校生活や学習活動の支援を行うため、特別支援スタディ・メイト配置の必要性が高まっています。		
2. 平成30年度事業の内容		
特別支援スタディ・メイトを増員するとともに、学校の状況に応じて適正に配置します。		
3. 目標値または実施により求める効果		
特別支援スタディ・メイトの充足率を高めることにより、特別な教育的支援が必要な児童生徒の学校生活を支えます。		
(単位:万円)		
財源	市の負担 1,530	経費内訳 報償費 1,515 保険料 6 旅費 9
		 個々に応じた適切な支援の実施

拡充	学校ICT支援員派遣事業費	802万円
		(前年度)
担当課	学校教育課	電話番号 74-8213
1. 本市の現状と課題		
学校では、電子黒板やタブレットの配置が整備されてきており、これらのICT機器の活用が求められていますが、教員の操作技能の習得や教材作成に時間がかかり、子どもに向き合う時間の確保が難しくなっています。		
2. 平成30年度事業の内容		
1週間に1回、学校にICT支援員を派遣し、ICT機器に関する業務を行い教員の補助をすることにより、教員が子どもたちと向き合う時間を確保します。		
3. 目標値または実施により求める効果		
教員のICT機器活用を促進し、ICT機器を活用した授業内容の充実を図ります。		
(単位:万円)		
財源	市の負担 802	経費内訳 委託料 802
		 タブレットPCを活用した授業

① 学校教育の充実

継続 「氷見の教師未来塾」推進事業費	108万円
(前年度)	83万円
担当課 学校教育課	電話番号 74-8213


1. 本市の現状と課題
 学校では、氷見市を担う子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」(＝「生きる力」)の育成に努めています。「生きる力」の着実な育成のためには、教員の指導力の向上、優れた教育方法の実践などが必要です。

2. 平成30年度事業の内容
 県外の優れた教育実践校への視察研修や1週間の体験研修、教育分野以外の講師による講演会などを実施します。

3. 目標値または実施により求める効果
 小・中学校長会と連携・協力して、視察研修の成果を市全体で共有し、各学校での教育活動に生かすことで教員の指導力などの向上を図り、「生きる力」を備えた子どもを育成します。

(単位:万円)

財源	市の負担	108	経費内訳	旅費	78
				委託料	15
			その他	15	



教員の指導力向上のための実技研修

拡充 小・中学校教育振興費	639万円
(前年度)	477万円
担当課 教育総務課・学校教育課	電話番号 74-8211、8213


1. 本市の現状と課題
 学校において、外国人子女への日本語指導、理科や英語など専門的な分野での指導を補助することによる、児童生徒の学校生活への支援が必要となっています。

2. 平成30年度事業の内容
 外国人子女日本語指導員、理科観察実験アシスタント、小学校英語学習パートナー、中学校における部活動指導員などを派遣し、それぞれ専門的な活動に携わってもらうことにより、学校教育を充実します。

3. 目標値または実施により求める効果
 教育の多様化による教員の負担を軽減し、児童生徒の教育活動を専門的分野において支えます。

(単位:万円)

財源	国の負担	20	経費内訳	報償費	315
	県の負担	67		委託料	76
	市の負担	552		その他	248



充実した学習支援

① 学校教育の充実

拡充	小・中学校読書活動推進事業費	607万円
		(前年度) 491万円
担当課	学校教育課	電話番号 74-8213


1. 本市の現状と課題
児童生徒の自主的・自発的な読書活動を進めるため、読書への関心を高める取り組みや本を読みたくなる環境整備などが重要となっています。

2. 平成30年度事業の内容
学校図書館司書を増員し、特に小学校での配置時間を増やすことにより、児童の自主的な読書活動を進めます。

3. 目標値または実施により求める効果
学校図書の実数や貸出数の増など、利用を促進します。

(単位: 万円)

財源	市の負担	607	経費内訳	賃金	598
				社会保険料	7
				旅費	2



図書室の本を借りる子どもたち

継続	小・中学校学習サポーター派遣事業費	1,358万円
		(前年度) 1,157万円
担当課	学校教育課	電話番号 74-8213


1. 本市の現状と課題
比較的規模の大きい学校や複式学級を抱える学校においては、子どもたちの確かな学力の定着を図るために、学習の補助を行う人員を配置して学習環境を向上させることが大切です。

2. 平成30年度事業の内容
複式学級を有する小学校及び多人数学級を有する小・中学校に学習サポーターを派遣し、チーム・ティーチング指導など複数の教師が行う学習の補助や習熟度に応じた個別指導など、よりきめ細かな学習指導を行います。

3. 目標値または実施により求める効果
複式学級の児童の学習の充実及び授業の円滑な進行に努めます。

(単位: 万円)

財源	市の負担	1,358	経費内訳	賃金	1,342
				社会保険料	16



きめ細かな学習指導による「確かな学力」の育成

① 学校教育の充実

拡充	外国語教育推進事業費	3,993万円
		(前年度) 2,649万円
担当課	教育総合センター	電話番号 74-8220


1. 本市の現状と課題
 小学校の外国語活動、外国語科の授業の実施にあたり、中学校との連携やALT(外国語指導助手)の活用が一層求められるとともに、小学校教員の英語の指導力向上を図る研修が必要になります。また、ふるさと氷見について英語で積極的に自分の考えを発信することができるようになることが望まれます。

2. 平成30年度事業の内容
 小学校外国語活動、外国語科の授業におけるALTの活用や小中連携による授業を推進します。
 また、全ての小学校教員が参加する基本研修を実施します。
 ふるさと教材英語版を作成し、授業での活用の促進を図ります。

3. 目標値または実施により求める効果
 小中学校教員の外国語教育への意識の高揚と指導力の向上を図ります。
 ふるさとを英語で発信したり、ふるさとについて互いの考えを交換したりすることができる力を育成します。

(単位: 万円)

財源	基金繰入金	1,740	経費内訳	賃金	2,833
	市の負担	2,253		社会保険料	479
			その他	681	



ALTと中学校英語教員が参加する外国語活動

継続	氷見の学力向上フロンティア事業費	35万円
		(前年度) 45万円
担当課	教育総合センター	電話番号 74-8220


1. 本市の現状と課題
 学校では、これまで、「とやま型学力向上プログラム」により、学校の実態に応じた特色ある実践を推進してきましたが、変化の激しいこれからの社会を生きるためには、より一層「確かな学力」を育むことが求められています。このため、子どもたちがより学力を高める学習指導についての研究を行うことが必要となっています。

2. 平成30年度事業の内容
 学力向上推進拠点校3校(小学校2校、中学校1校)を指定し、知識・理解に関する学力や思考力・判断力・表現力などの活用に関する学力を高める学習指導の在り方について、実践的な研究を進め、発信します。
 学力向上を支える学級づくりや授業改善を目指す研修を開催します。

3. 目標値または実施により求める効果
 教員の指導力向上を図り、児童生徒の「確かな学力」の向上を目指します。

(単位: 万円)

財源	県の負担	35	経費内訳	消耗品費	18
				報償費	8
			その他	9	



自分の考えを友達に伝え合うグループ学習

① 学校教育の充実

拡充	小中連携教育推進事業費	853万円
		(前年度) 757万円
担当課	教育総合センター	電話番号 74-8220


1. 本市の現状と課題
子どもたちは、義務教育9年間で心と体が大きく成長します。これまで、小学校と中学校が連携して学校教育を推進できるよう「小中連携9年間の人づくり～学びをつなぐ、支援をつなぐ～」を合い言葉に、学習指導だけでなく生徒指導においても、小学校と中学校が連携して特色ある教育ができるよう支援してきました。

2. 平成30年度事業の内容
本市が取り組んできた「小中連携教育」を総括し、ICT教育や外国語教育、ふるさと教育などを中心とした「小中連携 氷見型教育推進プロジェクト」を作成します。
また、Q-U調査の結果を活用して、よりよい授業が実践できるよう研究を進め、学力向上を図ります。

3. 目標値または実施により求める効果
小中連携9年間の人づくりをすすめる氷見型教育推進リーフレットを作成し、小中連携教育を推進します。また、Q-U調査の結果を活用し、学び合う学級集団を育成することで、学力の向上を図ります。

(単位: 万円)

財源	市の負担	853	経費内訳	賃金	365
				役務費	261
			その他	227	



中学校教員の小学校への乗り入れ指導

継続	「心のケア」推進事業費	640万円
		(前年度) 572万円
担当課	教育総合センター	電話番号 74-8220


1. 本市の現状と課題
小・中学校では、いじめや不登校、発達障害などの複雑で多様な問題を抱えています。このため、心理や福祉の専門家のご協力を仰ぎながら、教育相談体制の充実を図ってきました。
また、いじめのない安心できる学校づくりを目指し、関係機関などと連携した支援体制の充実を図ってきました。

2. 平成30年度事業の内容
不登校児童生徒のための適応指導教室「あさひ」の運営や家庭内の問題への対応、関係機関との連携を図る福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカー(SSW)の派遣などを行います。また、いじめ防止対策として、「氷見市いじめ問題対策連絡協議会」や「氷見市いじめ問題専門家委員会」を開催します。

3. 目標値または実施により求める効果
いじめや不登校、支援を必要とする児童生徒などへの組織的、継続的なチームによる支援を行い、不登校児童生徒の出現率の低下を図ります。

(単位: 万円)

財源	市の負担	640	経費内訳	賃金	571
				修繕料	22
			その他	47	



氷見市いじめ問題対策連絡協議会の様子

① 学校教育の充実

新規	ICT教育推進事業費		329万円
			(前年度) ー
担当課	教育総合センター	電話番号	74-8220
1. 本市の現状と課題			
<p>ICTを活用した授業を実施するためには、教員のICT活用力の向上が不可欠です。このため配置されたICT機器を十分に活用できるよう、教員の指導力向上や教員が活用しやすい環境の整備が急務となっています。</p>			
2. 平成30年度事業の内容			
<p>「ICT教育推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、ICTにおける環境整備や人的支援、教員研修などを一体的に推進します。また、より有効な活用を図るため、ICT教育アドバイザーを招聘します。さらに、教員をサポートするためのICT支援員を配置します。</p>			
3. 目標値または実施により求める効果			
<p>各学校に配置されたICT機器を十分に活用できるよう教員の指導力の向上を図ります。 ICT環境の整備や人的支援を行い、より有効な活用を促進します。</p>			
(単位:万円)			
財源	市の負担	329	経費内訳
			委託料
			216
			使用料及び賃借料
			54
			その他
			59

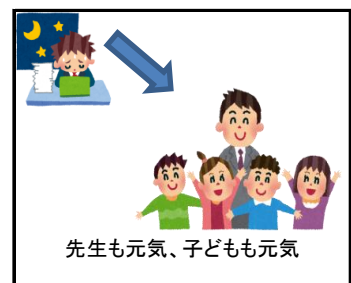


② 安全で安心な魅力ある教育環境づくり

拡充	学校給食センター整備検討事業費	117万円			
		(前年度) 85万円			
担当課	教育総務課	電話番号 74-8211			
1. 事業の趣旨(現状と課題)					
<p>学校給食センターは築後38年が経過し、老朽化が顕著になっており、安全で安心な給食を提供するために、新たな学校給食センターを整備する必要があります。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>平成29年度に策定した新学校給食センターの整備計画に基づき、本年度は基本設計を行います。 また、学校給食センター整備検討委員会を開催して、機能面の確認、検証を行います。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>安全・安心で美味しい学校給食の提供を目指します。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	117	経費内訳	委託料	100
				報償費	16
				食糧費	1



継続	校務支援システム整備事業費	1,440万円			
		(前年度) 702万円			
担当課	教育総務課	電話番号 74-8211			
1. 本市の現状と課題					
<p>教員の多忙化が深刻化するとともに、今後の学習指導要領の改正などにより、教員の多忙化がますます進むと予想されます。校務支援システムなどを有効に活用し、教職員の事務負担軽減と教員が子どもと向き合う時間を確保することが今後の課題となっています。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>昨年整備された、校務管理機能、学務管理機能、成績管理機能、グループウェア機能及び保健管理機能を兼ね備えた統合型校務支援システムを運用します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>教職員の多忙化の解消を目指します。 教職員が子どもたちと向き合う時間の確保を目指します。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	1,440	経費内訳	使用料及び賃借料	1,440



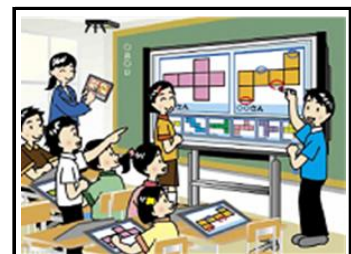
② 安全で安心な魅力ある教育環境づくり

新規	小中一貫校検討事業費		58万円
			(前年度) ー
担当課	教育総務課		電話番号 74-8211
1. 本市の現状と課題			
平成30年1月の氷見市小中学校統合審議会の答申を受け、良好な教育環境を提供するため、本市での小中一貫教育導入の可能性を検討する必要があります。			
2. 平成30年度事業の内容			
小中一貫校検討委員会を開催するとともに、先進地の視察などを行い調査・研究します。			
3. 目標値または実施により求める効果			
良好な学校環境の提供を目指します。			
(単位:万円)			
財源	市の負担	58	経費内訳
			旅費
			52
			報償費
			5
			その他
			1



小中一貫校で学ぶ子どもたち

継続	小・中学校ICT環境整備事業費		6,690万円
			(前年度) 4,804万円
担当課	教育総務課		電話番号 74-8211
1. 本市の現状と課題			
情報化や国際化など、急速に変化する社会の中で生きぬくためには、基礎的な知識や技術を習得し、それを活用して自ら考え、様々な問題に積極的に対応する力を身につける必要があります。今後は、計画的にICT機器を整備し、ICT教育の充実を図ることが課題となっています。			
2. 平成30年度事業の内容			
ICT教育の推進として、昨年、普通教室全教室に整備された電子黒板や各校1クラス分の人数に整備されたタブレットPCを活用した学習を行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
確かな学力を身につけた児童生徒の育成を目指します。			
ICT教育を推進します。			
(単位:万円)			
財源	市債	6,680	経費内訳
	市の負担	10	使用料及び賃借料
			6,690



ICT機器で学ぶ子どもたち

② 安全で安心な魅力ある教育環境づくり

継続	通学児童見守り事業費		692万円		
			(前年度) 692万円		
担当課		教育総務課	電話番号 74-8211		
1. 本市の現状と課題					
全国的に登下校時の事故が多数発生しており、保護者、児童の登下校時の不安が多くなっています。					
2. 平成30年度事業の内容					
電子タグ、携帯電話を活用し、小学校全学年を対象に、登下校の見守りシステムを運用します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
児童の登下校時の安心・安全を確保します。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	692	経費内訳	使用料及び賃借料	692



ランドセルに付けられた電子タグ

継続	地域学校協働活動推進事業費		710万円		
			(前年度) 679万円		
担当課		教育総務課	電話番号 74-8211		
1. 本市の現状と課題					
子どもたちの健やかな成長のため、地域の人材を活用して放課後や土曜日に豊かな学びを提供しています。茶道や習字などの伝統文化を学んだり、絵画教室や自然体験などを行ったりする様々なプログラムが行われています。新たなプログラムを提供するためには、地域人材の発掘が今後の課題となっています。					
2. 平成30年度事業の内容					
放課後子供教室を9カ所、16教室で、土曜教室を7教室で、中学生未来応援塾を5教室で実施します。事業全体を統括するコーディネーターを配置して、未実施地域における取り組みの推進や、各地域のコーディネーターの資質や活動の質の向上を図るなど、一層の事業の推進を図ります。					
3. 目標値または実施により求める効果					
子どもたちの豊かな学びや、地域住民の知識や経験を伝えていくための生涯学習の場を提供します。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	473	経費内訳	報償費	660
	市の負担	237		消耗品費	25
			その他	25	



茶道教室(朝日丘放課後子供教室)